

4 現地調査(概要)

1 目的

環境基本計画の策定の基礎資料とするために、市町村合併によって新しく浜松市となった地域を対象として、動植物及び歴史文化を中心に現地調査を行いました。

2 調査の内容

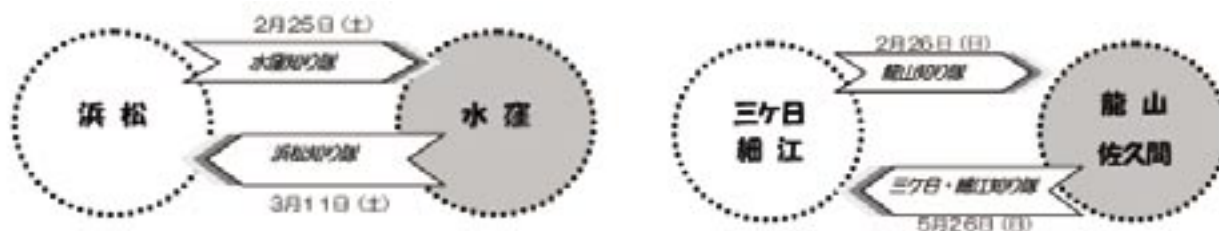
- ・交流調査(市民による地域の自然・文化の概況調査)
- ・動物調査(自然環境マップの補足としての調査)

3 調査の実施

(1) 交流調査

1) 調査の実施

各地域間の交流調査として下記の2ケースの往復、計4調査を実施し、他の地域の参加者の視点から見た調査を実施しました。



①水窪調査 ～水窪知り隊～ 調査日時：平成18年2月25日(土) 調査対象：水窪地域(中山間地域) 調査員：浜松・浜北地域(市街地地域) 16人参加 ガイド：水窪ガイドボランティアの会 14人参加	②龍山調査 ～龍山知り隊～ 調査日時：平成18年2月26日(日) 調査対象：龍山地域(中山間地域) 調査員：細江地区(浜名湖沿岸地域) 10人参加 ガイド：龍山ふるさと村 1人参加
③浜松調査 ～浜松知り隊～ 調査日時：平成18年3月11日(土) 調査対象：浜松地域(市街地地域) 調査員：水窪地域(中山間地域) 11人参加 ガイド：浜松市自然環境マップスタッフ まつり会館ボランティアガイド 浜松ボランティアガイド さいが崖資料館学芸員 7人参加	④三ヶ日・細江調査 ～三ヶ日・細江知り隊～ 調査日時：平成18年5月26日(日) 調査対象：三ヶ日・細江地域 (浜名湖沿岸地域) 調査員：龍山地域(中山間地域) 15人参加 ガイド：細江サンレディース 細江ガイドボランティア 6人参加

2) 調査員の主な意見・感想

調査名	①水窪調査 ～水窪知り隊～
主な意見・感想概要	<ul style="list-style-type: none"> ・近年ヤマビルが急増しています。 ・家老平の「カモシカと森の体験館」は、家老平一帯を自然系ミュージアムとして考え、自然環境教育の拠点施設として活用したら良いと思います。 ・「森林の荒廃」は問題です。山間地の人たちだけでなく都市の人たちも、ともに美しい自然を守っていけるようにすることが重要と思います。 ・国道 152 号が狭いためアクセスが悪く通勤しにくいことが、若者が地域を離れる原因のひとつになっています。道路の整備で都市との時間短縮を図ることが急務だと感じました。 など



【カモシカと森の体験館（天竜区水窪町）】



【大津峠（天竜区水窪町）】

調査名	②龍山調査 ～龍山知り隊～
主な意見・感想概要	<ul style="list-style-type: none"> ・秋葉ダム建設によって得たものは（一時の）村の賑わいと財政的余裕、下流の洪水に対する安心、ダム湖畔の桜並木などです。一方、秋葉ダム建設によって失ったものは、集落や農地、文化財、人口減少などです。どっちが良かったのでしょうか。 ・峰之澤鉱山の全盛期の賑わいは注目されます。浜松にないものが龍山にはあったのですね。 ・過疎化の進行も粛々と受け入れ、自然と共に生きる生活を感じました。 ・良く手入れされた山林や、水良し、緑良しの自然環境を感じました。 ・便利さを追及することが、豊かさの喪失に繋がるということが理解できました。自然に立ち向かうのではなく自然と共生することが大切だと思いました。 など



【峰之澤鉱山の坑口（天竜区龍山町）】



【秋葉湖（天竜区龍山町）】

調査名	③浜松調査 ～浜松知り隊～
<p>主な意見・感想概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大気汚染や河川の汚れが目につきました。 ・ 大気汚染対策のため、車の通行量の規制または排気ガス減を図る方策が必要ではないかと思えます。 ・ 芳川の水質は心配ないと言われていますが、褐色の色は見た目が良くないと思えます。 ・ 天竜川河口では捨てられた家電などのゴミが目立ちます。 ・ 砂浜に乗り入れてくるオフロード車が多いです。砂浜を守るために乗入れ禁止が必要ではないでしょうか。 ・ 中田島砂丘では、防風林に松食い虫の被害が目につきました。 ・ 砂浜の大幅な後退に対して、緊急な対策が必要だと思えます。 ・ 佐鳴湖は全国ワースト1の水質だと聞いていますが、市民の憩いの場として親しまれている様子がうかがえます。水質浄化の対策を推進すべきだと思えます。 など



【中田島砂丘（南区）】



【天竜川河口（南区）】

調査名	④三ヶ日・細江調査 ～三ヶ日・細江知り隊～
<p>主な意見・感想概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広々とした風景が龍山とまるで違って新鮮でした。 ・ 緑のリサイクルは大変興味深い活動だと思えます。 ・ 旧細江町はゴミの分別が27分別もあり実行されていたとのことでした。これは、地域の人々のリサイクルについての考えがしっかりしているから出来たことだと思えます。 ・ 地元の人が昔の猪鼻湖に戻そうと頑張っている話を聞き、水質の悪化の原因は私達の身近なところにあることに気づきました。この意識が重要だと思えます。 ・ 森林の中を走る道が多いので、森林の整備（間伐や枝落とし）などを行い、歩きながら奥浜名湖を見ることができると、もっと楽しくなると感じました。 など



【猪鼻湖（北区三ヶ日町）】



【姫街道（北区三ヶ日町）】

(2) 動物調査

1) 調査の実施

①魚類調査

新たに市域に加わった河川のうち、特徴的な環境を持つ河川において現地調査を実施しました。

②鳥類調査

特に山地や浜名湖沿岸の鳥類相、ワシタカ類の渡りの状況について現地調査を行いました。

2) 調査の結果

①魚類調査

魚類調査は以下の河川で現地調査を実施しました。現地調査は「浜松水辺を愛する会」および水窪川漁協・都田川漁協の協力によって実施し、6目11科37種が確認されました。

実施日：水窪川（天竜区水窪町） （平成19年9月10日）
 神宮寺川（北区引佐町） （平成19年9月16日）
 日比沢川（北区三ヶ日町） （平成19年8月25日）

現地調査および漁協提供資料で確認された特筆すべき種は以下のとおりでした。

科名	種名	確認河川	現地／資料	基準
サケ	アマゴ	水窪川	現地	環境省RDB
アカザ	アカザ	水窪川	現地	静岡県RDB
カジカ	アユカケ (カマキリ)	神宮寺川 日比沢川	現地・資料	静岡県RDB
	カジカ	水窪川	資料	静岡県RDB
コイ	カワムツ	神宮寺川 日比沢川	現地	静岡県RDB 環境省RDB
	タモロコ	神宮寺川	現地	環境省RDB
ハゼ	カワヨシノボリ	水窪川 神宮寺川 日比沢川	現地・資料	静岡県RDB 環境省RDB
	ビリンゴ	日比沢川	現地	静岡県RDB

注：○環境省RDB：改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックー

○静岡県RDB：まもりたい静岡県の野生生物ー県版レッドデータブックー



【水窪川調査（天竜区水窪町）】



【神宮寺川調査（北区引佐町）】

②鳥類調査

a) タカ類の渡りの調査

浜松市はワシタカ類の渡りのルートに位置しているため、渡りの時期に合わせて10月に現地調査を実施しました。

調査日：平成18年10月4日、7日

調査場所：三岳山（北区引佐町）

調査結果：ハチクマ、ハイタカ、ノスリをはじめとして22種類の鳥類が確認されました。

b) 山地性の野鳥調査

山地の鳥類相は平地とは異なっていると考えられるため、標高が高い北遠の山地において、冬の鳥類調査を実施しました。

調査日：平成18年12月16日

調査場所：水窪野鳥の森周辺（天竜区水窪町）

調査結果：ヤマドリ、アオゲラ、コゲラをはじめとして20種の鳥類が確認されました。

c) 浜名湖（引佐細江湖）冬鳥調査

引佐細江湖に大量に飛来するガンカモ類は当地の冬を代表する光景でもありますが、調査実績が少ないため現地調査を行いました。

調査日：平成19年1月13日

調査場所：浜名湖：引佐細江湖（北区細江町）

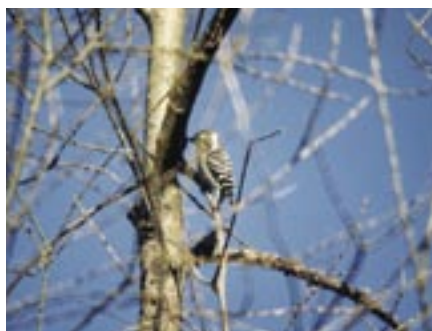
調査結果：マガモ、コガモ、ヒドリガモをはじめとして、49種の鳥類が確認されました。

これらの現地調査で確認された特筆すべき種は以下のとおりです。

科名	種名	観察地	基準
カモ	ミコアイサ	引佐細江湖	静岡県RDB
タカ	ミサゴ	引佐細江湖	静岡県RDB 環境省RDB
	ハチクマ	三岳山	環境省RDB
	ハイタカ	三岳山	環境省RDB
	サシバ	三岳山	環境省RDB

注：○環境省RDB：改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物－レッドデータブック－

○静岡県RDB：まもりたい静岡県の野生生物－県版レッドデータブック－



【コゲラ（水窪野鳥の森）】



【ヒドリガモ（引佐細江湖）】